

# 次世代型大学教育開発センターとは？

九州大学基幹教育院は平成26年に開始した「基幹教育®」の実践母体として設立されました。「基幹教育®」では、「学び方、考え方を学ぶ」姿勢の涵養こそが学問追究の基本であるという観点に立ち、自ら問いを立て主体的な学びのできるアクティブ・ラーナーの育成を目指しています。

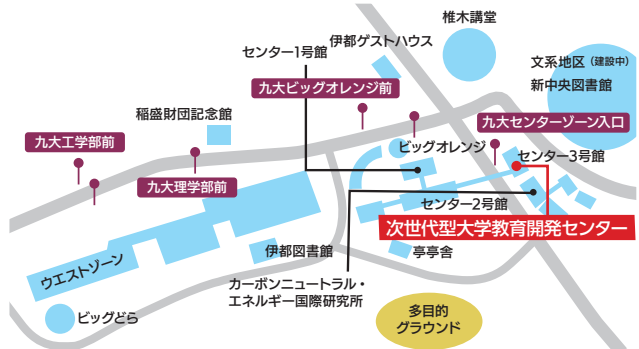
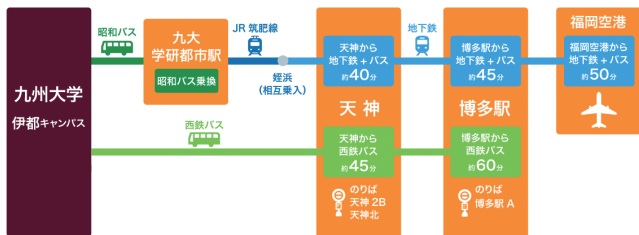
平成28年7月には、九州大学基幹教育院が文部科学省教育関係共同利用拠点「次世代型大学教育開発拠点」として認定されたことに伴い、拠点事業を担う「次世代型大学教育開発センター」が発足しました。

本センターは「リベラルサイエンス教育開発モジュール」「大学教員職能開発モジュール」「専門的人材養成モジュール」の3部門体制となっており、それぞれのモジュールで、公開体験授業や人材養成研修の企画・運営を行っています。また、九州大学内外の優れた教育実践を広く学内や他大学と共有し、大学教育の更なる活性化とパワーアップを図る場(セミナー・講演会など)を提供しています。

私たちは、アクティブ・ラーナー育成のためには、まず、教職員自身がアクティブ・ラーナーとなるのが大切だという考えの下、活動を展開していきます。

皆さまとの「出会い」を心待ちにいたしております。

## ACCESSMAP



# これまでの活動例

## FD講演会(公開 FD)

- 理系大学院・学部教育改革を先進事例に学ぶ
- TA制度改革と大学・大学院教育改善
- PBL (problem-based learning) 問題基盤型学習について

## 公開ワークショップ

- 学部混合・全学一斉展開型科目開発のためのワークショップ「基幹教育セミナー®」公開体験授業
- 文理融合型科目開発のための公開授業・ワークショップ～「課題協学科目」の実践から～
- 物理教育ワークショップ  
大学の物理教育におけるアクティブ・ラーニングへの挑戦

## 九州大学アクティブラーニング教室

- アクティブラーニング型授業をどうデザインするか
- ICTを活用したアクティブラーニング環境を考える
- 大学院生に向けたアウトリーチ教育
- テクニカルプレゼンテーション

## 専門的人材養成活動

- アドミッション・スペシャリスト能力開発研修会  
「アドミッション・オフィサー入門」「高大接続概論」「初級統計学—Excelでやってみる入試データ分析入門」
- カリキュラム・コーディネーター養成講座  
カリキュラムデザイン・ワークショップ  
～学位プログラムの視点から～
- 継続的改善のための IR/IEセミナー  
「IR人材の在り方について考える」  
「質保証とカリキュラム・マネジメント」

## 次世代型大学教育開発センターウェブサイトでは、

- ・最新のイベント案内
- ・過去のイベント開催報告  
などを随時更新中です。また、
- ・イベント案内メーリングリスト
- ・イベント申し込みフォーム



も開設中です。ご意見・ご提案も随時受け付けております。

講師派遣も行っております。ご希望の方は、以下の問い合わせ先まで、お気軽にご相談下さい。

### ●問い合わせ先●

## 次世代型大学教育開発センター 事務室

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 伊都キャンパス  
センター3号館3104号室  
Tel:092-802-6070 E-mail:kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp



# 次世代型大学教育開発拠点

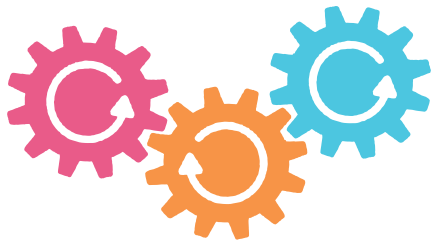
Initiative for the Future Development of Education



次世代型大学教育開発センター  
Center for the Future Development of Education



九州大学基幹教育院  
Faculty of Arts and Science, Kyushu University



次世代型大学教育開発拠点の特徴は、高等教育の専門家といわれる“一般の大学教員”が共に知恵を出し合い、現場レベルで奮闘・活動した成果を九州大学内外に発信できることです。本拠点事業は「リベラルサイエンス教育開発モジュール」「大学教員職能開発モジュール」「専門的人材養成モジュール」の3部門体制となっており、それぞれのモジュールで、公開体験授業や人材養成研修の企画・運営を行います。これらの公開体験授業や人材養成研修は、他機関などと協力しながら実施してまいります。

## リベラルサイエンス教育開発

- 初年次ポータル科目の科目開発
- 文理融合型科目開発
- 総合型実験科目開発
- 科目開発を通じた実践的FD
- 科目開発方法を他大学に支援

九州大学基幹教育院が基幹教育カリキュラムを開発・運営する中で蓄積してきた、さまざまな科目展開の実績を基盤として、それらを他大学に発信・普及させていくためのプログラム開発を行っています。ここで行われる研修は大学関係者だけに限定するのではなく、高大接続の視点からも積極的に中等教育を担う教師にも開放し、中等教育から高等教育への円滑な接続を目指したコミュニティ形成をも視野に入れています。

このモジュールにおいては、旧来の学問分野の壁を越えて、科学の基礎的な観点や共通する方法論を基盤とした授業開発を行うために必要な、さまざまなものの見方、考え方や方法を、広く共有するための研修を行うことを目的としています。



## 大学教員職能開発

- 大学教員養成 (PFFP)
  - アクティブラーニングの考え方や諸技法に関する研修
- ・ライティング支援
  - ・Problem-Based Learning
  - ・アウトリーチ教育 etc…

大学教員としての基盤的な知識を獲得し、それを現場で活用できる資質・能力を養成するための研修プログラムです。

このモジュールは、九州大学大学院基幹教育科目をベースにアレンジし、それを「PFFP -Preparing Future Faculty Program (大学教員養成プログラム)」として、他大学教員・大学院生に開放する方向で現在試行しています。

さらに、学生の主体的な学びを促すために、今日の大学教育では必須とされているアクティブラーニングを中心とした諸技法を学ぶ研修プログラムも提供します。そこでは、多様な研修プログラムを、「九州大学アクティブラーニング教室」として展開します。



## 専門的人材養成

- アドミッション・オフィサー養成
- カリキュラム設計担当者養成
- インスティテューショナル・リサーチャー養成

大学活動への説明責任を果たすことや教育研究活動の改革・改善に対する要請が高まる中で、これまでとは異なる役割を担う教職員が求められています。それは、学長がリーダーシップを発揮するために必要な、大学諸活動の現状把握やそれに基づいた方針の策定を支援する人材であり、「社会的要請を踏まえた大学改革の推進力として、執行部を直接支えることが期待される人材」とされています。

そこで、このモジュールでは、1) アドミッション・オフィサー養成プログラム、2) カリキュラム設計担当者養成プログラム、3) インスティテューショナル・リサーチャー養成プログラム、の3つの専門的人材に焦点をあてた研修プログラムの開発と提供を行うことで、専門的人材の育成と職能開発を通じたコミュニティの形成を目的とした活動を行います。

